



変化とスピード

(10月のごあいさつ)
平成29年10月1日(日)

先週、西安の観光旅行に行った。

行って驚いたのは、**始皇帝の兵馬俑と長安城と道路の車の多さ**であった。始皇帝は**不老不死の薬**を求めたというが、人一倍聡明で勤勉な始皇帝がそのような不合理なものを求める筈はなく、少しでも長く、多くの仕事をしたいと、**健康長寿の薬**を求めたのであろう。そして後世にその偉大さを残さんと造った**始皇帝陵の兵馬俑**を見て、**戦士の栩栩如生・活靈活現(生き生きとして活気がある)**の様子と**戦馬や戦車の精巧さと構想・規模の大きさ**に息をのんだ。始皇帝が2200年前に望んだ**健康な生命は先見の明**であった。

シルクロードの起点である**長安城**は、2000年を超えてその巨大な輪郭と面影の一部を陝西省の首都**西安市**に残している。市街を走り乍ら、バスの窓から本の知識を借りて往時の繁栄を想像した。

中でも最も驚かされたのは、**道路に溢れる自動車の多さ**である。西安市(市は日本の県に当る)の面積は、10,990 km²(大阪府 8,395 km²)、人口 825 万人(大阪府 880 万人)で、人口の規模は中国全都市の中の第 23 位ということであるが、その車の多さは、東京より混雑している感じがした。2年前に行った上海、4年前の北京と同じイメージで、オートバイの多さも目に付いた。

ガイドの話によると、今から **30 年前**に西安市で結婚するカップルの最必需品は、**①自転車、②時計、③ミシン**だったという。いずれも働いて生活を維持、向上させるようなイメージである。1978 年から始まった**鄧小平の改革開放政策**は中国を大きく変化させた。そして今から **15 年前**には、**①テレビ、②自動洗濯機、③冷蔵庫**と変化した。生活の向上と余暇の重視が想像できる。

現在の西安の人々の**最も関心のあること**は、**健康な生活**ということであった。中国において、富裕層が増加している。その最先端地とは言えない西安においても人々の**生活の向上や多様化の要求**は確実に変化、進展していることがわかる。日本の歩んできた行程をビデオで早送りしているような中国を感じながら、変化と向上の極致を想像してみた。